

移住希望者の小樽体験ツアー実施業務に係る公募型プロポーザルに関する質問に対する回答書

No.	該当資料名	頁	質問内容	回答
1	移住希望者の小樽体験ツアー実施業務委託仕様書	1	<p><u>4 事業費</u>について            上限予算 799,000 円とのことですが、交通費は参加者払いとしても、宿泊費や交流費（飲食費）は予算に含まれますか？</p>	<p>ツアー参加中の飲食費については参加者の実費負担とします。滞在に必要な費用（宿泊費）は事業費に含めてください。            なお、ツアー参加中の交通費についても同様です。</p>
2	〃	1	<p><u>5(1)②開催時期等</u>について            遠方からでも参加しやすさを考慮した日程とは、これまでの実績から平日ですか、週末ですか？</p>	<p>これまでの体験ツアーは平日に開催しています。集合時間が午前中の早い時間ですと、遠方からの参加では前泊が必要となってしまいます。その辺りを考慮した設定としてください。</p>
3	〃	1	<p><u>5(1)③対象者等</u>について            各ツアー5名以上で定員とありますが、たとえば「7人限定」や「8人限定」の設定をこちらで決めてもいいですか？</p>	<p>定員は、参加者と当日対応スタッフに加えて企画政策室職員1名が同乗できる範囲内であれば、自由に設定いただいて構いません。</p>
4	〃	2	<p><u>5(1)④エ ツアー期間中の移動手手段の確保</u>について            旅行保険の最低条件は？事故や損壊などですか？</p>	<p>参加者のツアー中の怪我や器物破損を補償する内容を想定しています。</p>
5	〃	2	<p><u>5(1)⑤イ 空き店舗等の視察</u>について            参加者の希望業種に適合とありますが、事前に予約者から情報を得るのですか？ それとも「大方こういう業種だろう」と網を張るのですか？            前者の場合ならプロポーザルの際に具体的な視察先は提案しなくてもいいのですか？ 提案時は案で構わないとありますが、実施の段階で案から逸脱してもいいのですか？</p>	<p>申込書に希望している業種を記載する欄を設け、申込みの段階で把握できるようにする予定です。            提案の段階では具体的な視察先ではなく、想定される業種を設定し、この業種にはこのような視察先を選定できるというものを例示してください。            実施の段階で提案時の内容と逸れてしまうことは、参加者の希望に沿うようにした結果であれば構いません。</p>

No.	該当資料名	頁	質問内容	回答
6	〃	2	<p><u>5(2) ツアー参加者の募集のための広報について</u>  これまで実施されてきた「移住希望者の小樽体験ツアー」において、市外居住者にどのような広報をしてきましたか？ 紙媒体の場合は都市圏のなんらかの機関に配布や設置を依頼しましたか？ 電子媒体も含めて教えてください。</p>	<p>紙媒体（チラシ）は東京の北海道東京事務所、ふるさと回帰支援センター、移住・交流情報ガーデン、北海道ふるさと移住定住推進センターに配架依頼をしました。</p> <p>電子媒体は、市HP・Facebookのほか、「北海道で暮そう！」メールマガジン、「どさんこ交流テラス」Facebook・Twitterでの周知を依頼しました。</p>
7	〃	3	<p><u>5(3) 参加者の決定について</u>  参加申込の受付及び参加者の決定は企画政策室が行うとありますが、先着順や遠隔地順ということで、こちらでは決められないのですね。ということはチラシ等の文言は「お申し込み受付」ではなく「審査にて後日お知らせします」ということですか？</p>	<p>参加者募集に当たってのチラシに掲載する内容は契約締結後の打ち合わせにより決定することになりますが、これまでは「応募多数の場合は選考となります。」としておりました。</p>
8	移住希望者の小樽体験ツアー実施業務公募型プロポーザル応募要領	3	<p><u>8(2) 提出書類について</u>  小樽市税に滞納がないことの証明書、消費税及び地方消費税に係る納税証明書とありますが、当法人は減免となっているため納税はしていません。減免通知書のようなものでもいいですか？</p>	<p>滞納がないことを確認するためですので、減免通知書で構いません。</p>